

『美濃四十八座』構想について

発起人：正尊寺 杉山雲来

かつて、美濃地方はたいへんご法義が盛んで、真宗の土徳溢れる地でした。幕末の三業惑乱では僧俗混沌と法義解釈で対立するエネルギーがありました。それが、現在ではどうでしょう。聴聞の場である各寺のお座は、報恩講と永代経がかろうじて成立するくらい。しかも、参詣者は高齢化と共に減少傾向、それを受けた消化行事的な方向に向かってはいないでしょうか？

一方、宗派では本堂でのコンサートや漫才、芸能人の知名度で人集めをする方法が賛美されています。これが、ほんとうに法義聴聞の導入となってくれるなら結構ですが……

門徒さんや一般の方に本堂を貸して行われるならともかく、住職が率先して演芸場のプロデューサーとして苦心する姿、何か寂しさを感じます。

我々住職寺族は本堂でキッチリ法義を伝えるプロデューサーとして行うべきことは何かと考えるとき、お聴聞の場として純粋にご法義直球勝負の「真宗講座」的な法座の開催ではないでしょうか。主催者自身が自信を持ってご門徒を誘えるご講師による法話、それを本堂という最高のロケーションの中で味わってもらうために少し苦労してみませんか。

浄土真宗の法義は直球勝負なら老若男女を問わず必ずご門徒さんの心を動かします。

現在、正蓮寺・超宗寺・正尊寺・林雙寺・西光寺とアライアンス法座が拡大しています。

さらに来年度は14ヶ寺の開催準備が進められています、宗祖大遠忌に合わせ年間48座開催を目標に、美濃地方を点から面へのご法義聴聞の土徳が広がることを願いお誘いいたします。

この期にぜひ貴寺院でも真宗講座の立ちあげをご検討下さい。

平成21年6月30日

☆条件☆

- i 年1回以上昼と夜の2座開催（午後2時：7時半）
※就業年齢世代を巻き込むには夜座は肝要です。
- ii 講師は各会所寺院が責任を持って手配する
※加盟寺院には講師紹介や依頼方法の助言は致します。
- iii 報恩講や永代経など旧来の法要とは別に開催する
※法要（荘厳・お勤）やお齋にエネルギーを割かれることなく開催する。
（常例・勉強会などの聴聞のお座を振変ることは大変良い）
- iv 参加マップの共有
※お同行の参り合いによってお座の活気を甦らせる。
- v 満願者への顕彰は門徒師匠寺が行い、記念品は統一できたら良いと考える。
※今始めれば必ず本堂から参詣者が溢れる程の満堂お座になります。

美濃四十八座 加盟寺院一覧

| | | | | | |
|-----|-----|---------|------|-----|-------|
| 第2番 | 正尊寺 | 本巣市曾井中島 | 第9番 | 西光寺 | 大野町八木 |
| 第3番 | 正蓮寺 | 岐阜市岩利 | 第10番 | 光照寺 | 大野町宝来 |
| 第4番 | 超宗寺 | 岐阜市曾我屋 | 第11番 | 妙円寺 | 岐阜市鍵屋 |
| 第5番 | 林雙寺 | 大垣市桑田町 | 第12番 | 浄妙寺 | 池田町白鳥 |
| 第6番 | 西光寺 | 本巣市根尾水鳥 | 第13番 | 光円寺 | 関市朝倉町 |
| 第7番 | 嚴徳寺 | 岐阜市西改田 | 第14番 | 善徳寺 | 瑞穂市別府 |
| 第8番 | 専琳寺 | 各務原市蘇原 | 第15番 | 浄明寺 | 瑞穂市重里 |